

# 「都市づくりのグランドデザイン(素案)」における 意見・アイデアの募集結果について <はじめに、第1章～第4章等>

※意見・アイデアに記載されているページ番号は素案のものです。

## ◆はじめに

番号	意見・アイデア
1	<p>P. 1 「はじめに」の締め括りに「次世代に確実に継承」とありますが、せっかく作った夢ある方針なので2040年代に働き盛りを迎える次世代（中高生など）にも是非知って貰い、未来をイメージして貰えるものにして下さい。その中から都市づくりを志す次世代がいると素敵だと思います。</p> <p>そのためには、内容や表現が難しいと思いますので、もう少し平易な表現に変えると良いと思います。学校や家庭で子供と話題にできるような、そして子どもが興味を持つようなキーワードやキャッチフレーズがあると良いと思います。</p> <p>グランドデザインの意志を未来に渡って継承してくれるべき人に伝わるよう、若者や中高生にもわかりやすい表現、周知をご検討頂けないでしょうか。</p>

## ◆第1章

番号	意見・アイデア
1	<p>例えばP. 55に「地元市による・・・支援します」とあるが、GDは都が主語か。21年ビジョンは「都民、企業、NPOなど多様な主体の参加と連携によって戦略的に政策誘導型の都市づくりを展開する上での基本的な方針」（P. 2）としていた。具体的な都市づくりに関して都ができることは限られるので、各主体を主語とし、各主体が持つ共通のバイブルとなるGDという位置づけが良いのではないか。</p>
2	<p>整合を図る、あるいは本計画に示すべき都市像の具体化を図るとする諸計画について、優先順序を示すべきではないか（例：「都民ファースト～」とは並列、都市計画区域マスタープランに対しては上位など、図示したほうがよい。）。</p>
3	<p>昨年度の答申で示された内容で、素案に表現されていない項目があるのではないか。</p>
4	<p><b>対象範囲の明確化</b></p> <p>本計画が対象として想定する地理的な範囲について、責任を持って明確に示した方がよいと考えます。東京や東京圏における関連計画や都市開発事業の企画段階において、本計画が都市づくりの方針として利用されるためには、本計画を参照すべき計画・事業の地理的範囲を明確に示すことが有用と考えられます。</p>
5	<p>東京都では、様々なガイドラインや方針、計画書を作成していると思うが、違いや関連性、実効性が分かりにくい。</p> <p>ガイドライン等を多数作成すると、かえって混乱を招くのではないか。</p>

6	(そもそもとなるが) 2040 年代という目標時期の設定は適切なのか。2040 年代を目標とするならば、(これほど冗長なものではなく) もっと端的なメッセージとしてのビジョンの提示でよいように思われた。
---	---

## ◆第2章

番号	意見・アイデア
1	都民の活動イメージと各取組にあまり関連性を感じられない。
2	グラフで観光だけ色が消えているのではないか
3	減少傾向である東京の人口を最下部に配置するのは印象操作と受け止められかえって印象が悪いのではないか(人口は都市活動の基礎。)
4	今回東京都よりご提案いただいた「都市づくりのグランドデザイン」は、その中核広域拠点、特に国際ビジネス交流ゾーンにおいてまさに私たちが思い描く未来の都市像であります。7 ページ記載の自動運転技術の項にあります道路空間の活用自由度が増し、歩行者や緑の空間としての人中心のまちづくりや、64 ページの道路空間を再編(リメイク)のデザイン例などは、まさに表参道をモデルとすべき将来構想だと思います。
5	2 社会状況や技術革新の見込み 2) エネルギー・環境技術 燃料電池自動車や電気自動車などの普及拡大によるエネルギー利用の効率化・・・「家庭用燃料電池」を追記すべきと考えます。 文案：燃料電池自動車や家庭用燃料電池、電気自動車などの普及拡大による・・・
6	P. 8 2) エネルギー・環境技術 「水素エネルギー」の記載を「CO <sub>2</sub> フリー水素エネルギー」に修正いただきたい。 水素エネルギーの中でも、化石燃料改質水素を利用した場合は、燃焼と同程度のCO <sub>2</sub> が発生するため、持続可能かつ低炭素なエネルギーと評価することは困難です。平成 28 年 5 月、東京都におかれても、CO <sub>2</sub> フリー水素の導入を目指す四者協定を締結しており、また経済産業省の「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」でも 2040 年にはCO <sub>2</sub> フリー水素供給システム確立を想定していることから、東京都の 2040 年イメージとしては、より持続可能かつ低炭素である、「CO <sub>2</sub> フリー水素エネルギー」が都市活動を支えている先進イメージを都民に示されるべきと考えます。

番号	意見・アイデア
7	<p>国際競争力強化の視点</p> <p>既に工業生産力での競争から転換した東京において、国際的に競争力を持つには、具体的に、どのような魅力をどのように持つかを示していただきたい。安全で安心なども東京ならではの魅力になると考えます。</p> <p>情報化時代において、地理的距離のみが抵抗ではないので、アジアの中での魅力を高めるために、抜本的に質にこだわった都市づくり（例えば、都市内公共交通の料金体系などのシームレス化、最適ルートの自動提案と意識させない料金収受。生活インフラの多言語化。文化施設のボーダレス化）など多様な人材が集まりたいと思わせる都市の姿を示してください。</p> <p>A I、ロボットが生活に普通に入ってきている時代、多様な国籍の人材が居住する時代の有り様、備えを検討課題でも良いので記して頂けると良いです。</p>
8	<p>「世界を相手に活躍」は「世界を舞台に活躍」等のほうが良いのではないかと（相手という語は対決の印象がある。都民と世界の二項対立ではなく、都民が世界に内包されるようなイメージのほうがよい。）。</p>
9	<p>「スペースの少ない都市部においても農地が確保され、次世代に引き継がれています」は13ページに移したほうがよいのではないかと。</p>
10	<p>病院や学校での外国人対応にとどまらず、行政サービスにおける外国人やLGBTなどへの対応も付け加えて「誰もがいきいきと交流・活躍できる」というイメージを提示すべき。</p>
11	<p>ニーズに合わせた働き方の前提として、先進諸外国の大都市と同等の賃金水準を目標として示すべき。</p>
12	<p>「ライフスタイルにシェアリングの考え方が浸透してモノや空間、時間を効率的に活用しています。」と入れたらどうでしょうか？</p>
13	<p>「葛西海浜公園西なぎさ」は、東京都港湾局、指定管理者（東京都公園協会）などとともに、環境の改善に取り組み半世紀ぶりに海水浴場が復活しました。これからも、子供達のため、更なる取組みが必要です。海水浴場が復活し、身近に自然を感じることが出来る汽水域などについてランドデザインの中に是非、入れていただきたい。</p> <p>文案:自然を再生し、海、川、山を観察して、自然の美しさ、やさしさ、厳しさを肌で知ることこそ、将来を担うこどもたちの健全な発育の素になります。</p>
14	<p>P. 14 「東京らしさ」という表現について</p> <p>当該箇所において「東京らしさ」として挙げられている「にぎわいや緑豊かな住宅地、魅力のある商店街、風情のある下町」は、概ね東京都心から郊外住宅地を想定した文言と捉えることも可能で、多摩方面や島しょ部に対する配慮に欠けた表現とも受け取られかねません。地域によって多様な魅力を持つ東京都の「らしさ」を、再度検討頂ければ幸いです。</p>

番号	意見・アイデア
15	<p>P. 14 無電柱化に関する表現</p> <p>無電柱化に関する文言について、個人としては全面的に賛同致しますが、「邪魔されることなく」という表現は主観的です。行政文書において、主観によって否定的な表現を用いることは不適切と考えられます。電柱や電線に対する感情は人それぞれであり、電線に郷愁を感じる例もあるかと存じますので、「広い空を楽しむことができる」など、肯定的な表現に変更されてはいかがでしょうか。また、具体的取組の節で述べられているような、防災上の利点などを付加することで、より多くの都民の理解を得ることができると考えます。</p>

### ◆第3章

番号	意見・アイデア
1	<p>東京一極集中の負の側面について、なんらかの緩和策を示すべきではないか（東京への人・モノ・情報の集積が東京ひいては日本の成長の源泉という認識は、今後も従来通り一極集中を志向しているように思われる。集積ではなく、人・モノ・情報が行き交うハブとしてのビジョンを望みたい。）。</p>
2	<p>世界における役割</p> <p>東京が世界の高感度な消費者をターゲットとしたショーケース、テストマーケット機能を担うという位置づけは、今後の産業競争力を高める戦略として有効と考えますが、エンドユーザー向けの消費財だけでなく、都市システムやインフラのあり方（新たなモビリティ、エネルギー供給等。）を都市の中で実装し、パッケージ型で実現する取組みも重要であると考えます。</p> <p>これまでに東京が蓄積してきたノウハウや技術の海外移転だけでなく、新たな技術、システム、サービスを都市の中で開発していくためのサンドボックス特区のような取組みを積極的に実施していくという位置付けも併せて記載されると良いと考えます。</p>
3	<p>全体のトーンとして新しいパラダイムを志向している点は大変評価できるが、グランドデザインが2040年代を目指しているとしたら、下記に示すようにもっと大胆な提案も盛り込んでほしい。</p> <p>国際技術都心としての東京の都市づくり（技術実験都市づくり）</p> <p>日本の芯としての東京のあり方や国際的位置づけを意識して、経済力だけで強引に邁進する中国に対し、技術文化を磨き続ける日本を象徴するような実験都市づくりを目指してもらいたい。</p> <p>例：新しい交通システム（架線レスLR T、自動運転システム等。）の社会実験を常に都心近くで実施し続けるような都市。</p>

番号	意見・アイデア
4	<p>3-1(2)都市課題の先駆的な解決モデルを構築・発信するについて</p> <p>記載されている通り、東京は「都市の課題解決」にこれまで及び現在も取り組んでおり、また後述されているように、これからも様々な課題に対して取り組んでいく事と思います。</p> <p>しかし「都市の課題」には様々な種類のものがあり、また世界中の各都市も発展状況や政治、経済状況などそれぞれ異なった条件を持っています。</p> <p>素案には『(都市課題の)ノウハウや技術を同様の課題を抱える都市で活かしていきます。』との記載がありますが、具体的にはどのような課題解決方法がどのような都市で活かすことができ、どのような方法で発信していくのか。という記載や一覧表があれば、より良い素案になるのではないかと感じました。</p>

#### ◆第4章

番号	意見・アイデア
1	<p>都市経営コストの効率化の観点は重要だと考えます。P. 19 以外（例えば第7章の実現に向けて）でも記載があるとよいと思います。また、単なるコスト削減ではなく、必要など所に集中的にコストをかけるべきであることを表現するとよいのではないかと思います。（例えば、メリハリ、集約・再編という言葉（P. 95））</p>
2	<p>財政基盤の確保</p> <p>東京都の歳入は法人二税（法人住民税、法人事業税）の割合が高く、過去には急激な景気の悪化による法人二税の減収等により、1年で約1兆円の大幅な減収につながったこともあるなど、景気動向による影響を受けやすい不安定な財政構造になっている。</p> <p>一方、高齢化の急速な進行に伴う社会保障関係費の増大や、高度経済成長期等に集中的に整備された社会資本の維持管理・更新への対応、人口減少に伴う税収減など、東京都の財政は将来への課題を抱えている。</p> <p>従って、都市像を実現していくための政策展開を支える財源を安定的に確保していくには、企業の成長・発展を促進することで東京の経済活力を向上させていくとともに、不断の行財政改革により、中長期にわたり財政基盤を堅持していく必要がある。</p>
3	<p>「ESGの概念も取り込んで都市づくりを進める」とあるが、具体的にGDのどこに繋がるのか、読み取りにくい。</p>
4	<p>2040年代に向け、地球環境と調和しながら持続的に発展していく「活力とゆとりのある高度成熟都市」とされた都市づくりの目標に共感致します。</p>

番号	意見・アイデア
5	<p>地域が主体となって地域の価値を向上する（まちづくり団体が登録制度に関して）</p> <p>都市再開発で立石駅前再開発が計画されていますが、地権者中心で計画が進行しています。しかし、住民、店主等の多くのステークホルダー（利害関係者）とのパートナーシップをくみ、参加することで、持続可能な開発を通して、自治体の活性化を図ることができると思います。多くの自治体において、将来における衰退が懸念されているなか、今後、立石をはじめとして高層ビルの廃墟にならないように願っております。国連ではSDGsの取り組みが重要だと自治体での取り組みが進められています。東京都も持続可能な開発目標のまちづくりを施策に取り入れていくことは必要だと思います。</p>
6	<p>〈多心型都市構造（1982～）〉の図について</p> <p>第二次東京都長期計画（1986、28 ページ）には、東京都の「多心型都市構造」と第4次首都圏基本計画 1986 の「多核多圏域型地域構造」の関係を東京都の立場から図示されています。この図を提案します。</p>
7	<p>「千葉広域拠点」に違和感がある（成田空港と千葉都心とのコネクション、その中間地帯の都市機能の集積あり方についてどのようなビジョンがあるのか？）。</p>
8	<p>2-(3)-1) 「・・・市街地に残る水・緑の空間などを最大限に活用する・・・」</p> <p>市街地に「残る」水・緑だけでなく、市街地で新しく創出する水・緑の空間についても最大限に活用すべきと考えます。</p> <p>例：「・・・市街地に残る、あるいは新しく創出される水・緑の空間などを最大限に活用する・・・」</p>
9	<p>2-(3)-1) 集約型地域構造（イメージ）の図</p> <p>「Gr（緑地・農地、水辺など）」が市街地の周縁部にしか表れない概念図になっており、ここで定義されているGrには都心部や住宅地における緑が含まれていないように見受けられます。地域特性に応じた緑を種類分けして表現すべきと考えます。</p> <p>例：Grを3つに区分分けする。</p> <p>Gr-1：都心部の緑、Gr-2：住宅地の緑、Gr-3：自然地の緑</p>
10	<p>「集約型の地域構造」は、人口の減少が予測される郊外地域におけるビジョンとしたほうが適切ではないか（23 区内など、人口が減少せず、地域に根付いた小規模な生活利便機能の維持が期待できる地域では、主要な駅周辺に機能を集積させることがまちの個性の喪失につながることもある。拠点の形成やコンパクト化は持続可能な都市のひとつのかたちでしかなく、それぞれのまちに合わせた持続可能なあり方を模索したほうが良い。</p> <p>例：谷根千エリアは東京でも個性的で活気があり、都民や外国人観光客に人気のエリアのひとつだが、そこには拠点が無い。日暮里駅前の再開発ビルは無個性で、谷根千エリアの気風や活気を取り入れられていない。）。</p>

番号	意見・アイデア
11	<p>「集約型の地域構造（イメージ）」（P. 25）</p> <p>意見の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上、働き方改革、子育て環境改善のためには、職住近接を政策レベルで強く押し出していく必要がある。</li> <li>・事実、ここ1年くらいに、横浜市や町田市等での郊外型オフィスのニーズが見られ、社会ニーズは今後高まると予想される。</li> </ul> <p>追記案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスが日常の足となっている地域～ ⇒ シェアオフィスだけでなく、「オフィスビル」も追加</li> <li>・車中心の生活が行われている地域～ ⇒ 「オフィスビルやシェアオフィス」を追加</li> </ul>
12	<p>25 ページ、集約型の地域構造（イメージ）の左下の解説文。及び96 ページ。</p> <p>「ゆとりのある生活の空間、二地域居住の場」がわかりにくい。「二地域居住の場」とは何でしょうか。</p>
13	<p>25 ページ、集約型の地域構造（イメージ）の左下の解説文。及び96 ページ。</p> <p>再生地域は、96 ページに記載されている、地域交通の充実を図ることを記載すると、安心してもらえると考えます。取り残される心配を払拭できると思います。</p>
14	<p>2-(3)-2-③「公園・緑地、農地、これらをつなぐ街路樹、河川・運河などの身近な水・緑についても、地域の特性を踏まえてネットワーク化を進めていきます。」</p> <p>民有地の緑についても構成要素の一部として捉え、官民連携した水と緑のネットワーク化を進めていくべきと考えます。</p> <p>例：「公園・緑地、農地、民有地のオープンスペース、これらをつなぐ街路樹、河川・運河などの身近な水・緑・・・」</p>
15	<p>「個性」に着目した地域づくりと新たな土地利用の展開で記載された内容はとても良いと思う。</p>
16	<p>2-(4) 「都市づくりに・・・最先端の研究・学術・ものづくり、文化・芸術、スポーツ、農などの新たな視点を付加する。」</p> <p>地域の個性となるコミュニティづくりや賑わい創出に寄与する「緑」についても視点の一つとして表現すべきと考えます。</p> <p>例：「都市づくりに・・・最先端の研究・学術・ものづくり、文化・芸術、スポーツ、農、緑などの新たな視点を付加する。」</p> <p>備考：第5章の政策方針22 取組2と関連（P. 99）</p>
17	<p>「拠点域」という名称は不適切ではないか。「域」の中のある地点が「拠点」であり、その意味ではむしろ「ゾーン」とされているものが「拠点域」だと考える。</p> <p>特に、「多摩広域拠点域」は再考したほうがよいと考える（中枢広域拠点域は東京全体の中核である広域拠点域だとして、多摩広域拠点域は何に対して広域拠点なのか？多摩地域全体をざっとくくって多摩広域拠点域と呼称するのはナンセンスではないか）</p>

番号	意見・アイデア
18	<p>下町交流ゾーンの設定</p> <p>「都市づくりのグランドデザイン」の素案を拝見して、国際ビジネスゾーン、多摩イノベーションゾーンなどと並んで、下町国際交流ゾーンを設けて頂きたいとおもいました。上記のごとく東京東部の下町ゾーンには外国人には魅力的けどまだ知られていない観光名所となる可能性のある場所が沢山あります。</p> <p>寅さんの映画の背景になったような日本人の心のふるさとという環境や下町人情ソバ打ちなどの体験などこれからの東京の新しい魅力を打ち出すのにふさわしい場所だと思います。</p>
19	<p>22、29、30、31、52、122、133 ページ</p> <p>「国際ビジネス交流ゾーン」及び「多摩イノベーション交流ゾーン」の位置、区域がわかりにくいです。</p> <p>例えば、122 ページの「中枢広域拠点域」の図と、133 ページの「多摩広域拠点」の図に記載することをご検討下さい。</p>
20	<p>3-(2) 「グローバルなビジネス展開を支える外国人向けの住宅、サービスアパートメント、医療・教育機関など、国際的に高い水準を持つ都市環境が整備され、・・・」</p> <p>ESGの概念を掲げるにあたり、東京はグローバルな都市力を持っている一方で、世界的に見ても環境に対する評価が高くありません（参考：世界の都市総合力ランキング、森記念財団都市戦略研究所）。世界への玄関口である「国際ビジネスゾーン」において、環境への取組を示していくべきと考えます。</p> <p>例：「グローバルなビジネス展開を支える外国人向けの住宅、サービスアパートメント、医療・教育機関、質の高い緑化空間など、国際的に高い水準を持つ都市環境が整備され、・・・」</p>
21	<p>国際ビジネス交流ゾーン</p> <p>当該ゾーンは、企業の中核業務の集積や交流機能だけでなく、15 ページに記されているテストマーケットの取組みを担うエリアとしても明確に位置付けられるべきと考えます。</p>
22	<p>拠点域ごとの政策展開における、地域特性を踏まえた柔軟な対応について</p> <p>広域的な一定の圏域ごとの将来イメージとして地域区分が示されたが、中枢広域拠点域は都心から概ね環状7号線までの区域とされている。但し、隣り合う地域区分の境界域については、「相互の地域特性が緩やかに変化・融合しながら連続性を持っている。都市機能の集積状況や社会経済情勢等の変化に対応しながら変容しうるものである」としている。</p> <p>中央広域拠点域外側の東京23区エリア等についても、それぞれの地域の特性を活かしながら更なる発展が期待されることから、都市開発のあり方などにおいて、施策の推進に遅れが生じることのないよう、地域のポテンシャルをしっかりととらえ柔軟に対応されたい。</p>



番号	意見・アイデア
23	中枢広域拠点が環状7号線の内側とする考えは、いかがなものでしょうか。
24	中枢広域拠点においても、社会的活動（ビジネス、商業等）とみどり、水辺（親水域）がバランスした空間造りを目指して欲しい。希望的には、もっとみどりや水辺が欲しい。そのため大胆な開発規制、緑地の確保をお願いしたい。（シンガポールはその1例か？）皇居はその素晴らしい財産である。
25	多摩イノベーション交流ゾーンに反対！ これからの時代にさらに多摩丘陵の緑を開発するような計画はやめるべき！ゾーンの場所を変えて多摩丘陵をはずすべき！

#### ◆「都市づくりのグランドデザイン」のキャッチフレーズについて

番号	意見・アイデア
1	造る時代から使う時代への転換
2	サステナブル・アーバン・ライフ in TOKYO
3	面白スポット計画 (東京のあちこちの場所の個性を生かして特徴あるまちづくりをして、観光客や外国人を招きよせる計画です。)
4	Frontier of City Solution , TOKYO (東京は都市課題解決の最前線である。という想いを込めました。)
5	生き生き暮らせるオトナの未来都市
6	トーキョー バイタル エンジン
7	エンタングラムシティ
8	持続可能な開発目標（SDGs）のまちづくり
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京を整える」or「東京を調える」 (案の背景：人口減少や高齢化に備え、木密解消・集約型地域など)</li> <li>・「快適な東京」 (案の背景：住み働く上で更に)</li> </ul>
10	誇りと憧れの進化
11	おもてなしの和の文化を持ち、世界を先導する技術を持つまち、東京
12	シナジーシティ
13	都市づくりの目標はわかりやすく、端的な表現で、これで良いと思います。
14	さらに先の40年後にむかって、競争力を蓄える知性と体力のバランスのとれた都市
15	著作権の関係により、掲載不可

◆「都市づくりのグランドデザイン」のキャッチフレーズについて  
(都立高校生意見)

番号	意見・アイデア
1	NEW TOKYO
2	熟した若さ
3	奠都から 130 年目の改新
4	豊かなみどりと豊かな人材のある豊かなまち
5	行きたいまち・生きたいまち
6	Make Tokyo the Best
7	暮らしやすい都市世界一へ Colorful Tokyo
8	世界の見本 TOKYO へ Make new Tokyo
9	わたしたちの東京
10	完熟を目指して
11	改体新都
12	育つ東京、育てる東京
13	甘辛い都市へ
14	世界の東京
15	広がる東京
16	ホワイト都市
17	経済の成長は都市の成長から
18	未来へのファーストステップ
19	グローバルな東京 2040 年に向けて
20	経済と共にゆとりの感じられる流通都市
21	グローバル化 日本の成長
22	グローバル化を加えたバリアフリー ~In Green City~
23	住みたい！と思える町に
24	大人のヨユウ見せましょう
25	東京 新大都市改革
26	都政はあなたのために
27	どんな人でも過ごしやすい、進化した町
28	みんなで楽しく暮らせる社会
29	子育てしやすい都市へ
30	誰もが快適に暮らせる都市
31	ヒト・モノ・ミドリの東京へ！
32	全ての人に笑顔と健康を。
33	十人十色を大切に
34	old traditional and new traditional!
35	Useful and beautiful!

番号	意見・アイデア
36	We can make a globality future by ourselves!
37	世界をリードする快適都市空間
38	ブラックの無い世界を
39	温故知新～過去から新しい未来へ～
40	クオリティ・オブ・トウキョウ
41	みんなに愛される都市へ
42	チャイルドファースト
43	描く未来が都市になる
44	風通しがいい街
45	緑と技術の新しい東京
46	目指せ僕らのユートピア
47	私が創る、あなたと創るまちに
48	「選択肢」の多い東京へ
49	NEO TOKYO
50	彩る未来東京
51	皆でつくるトウキョウ
52	多様なコミュニティの力を活かして
53	子供から高齢者までいきいきと安心して
54	住みやすいまちTOKYO
55	人と街とが創る社会
56	人とつながる東京へ
57	みんなでつくる、みんなの東京
58	To Knock Your objective (自分の目標が開けるように)
59	毎日が楽しくなるまち
60	緑と笑顔あふれる都市、東京！
61	「温古地新」を極めた都市へ (「古き温かさ」と新しい東京の地の姿」と四字熟語をかけたもの。)
62	新・東京、人の心も活用とゆとりを！
63	世界をリードするスマートシティ化
64	自由な価値観で暮らせる東京
65	地域と提携する東京
66	全ての人に対応する社会を
67	人と人との協力で作る暖かい街。
68	誰もが自由で実りのある生活を
69	自然も人もそれぞれが輝く新たな東京。
70	「過去」と「私たち」と「未来」の街 東京
71	とかいなか(都会・田舎)を目指す

番号	意見・アイデア
72	表面だけでなく、内側まで人々と共に進んでいく
73	リノベーション、イノベーションでモチベーションUP大作戦！！
74	誰でも。くらしやすいと感じるまちづくり
75	みんなの家になる街
76	いつまでも笑顔があふれる街へ
77	よりグローバルなTOKYOへ
78	全員が喜ぶ都市づくり
79	緑と都市の調和
80	ゆとりをなごみの東京へ
81	世界一住みやすい都市を目指して
82	東京ならではの東京にしかできない都市づくり
83	自然との調和に向けて
84	地域とつながる町づくり
85	ジャパニーズドリームの創出
86	平和とみどりの世界都市
87	明るく住みごこちのよい街を目指す
88	夢をはらんだ未来の幸せ
89	街でつながる、都でつながる
90	”わたし”が創る理想の街
91	あらゆる笑顔の都市像の実現へ
92	ひとりでもみんなでも
93	才色兼美、質実剛健
94	私達の未来を守るために
95	グリーンな街を目指して
96	開発だけでない、質を求めたきれいなまち、東京
97	東京から世界を開発する
98	日本を知る。協力すればできる。
99	世界と緑と私
100	緑を守ろう
101	東京の将来、考え始めました。
102	新しさと伝統の街へ
103	LET'S TOKYO で ENJOY!★!
104	ここが東京 自由はここにある
105	未来の東京を想像しよう!!!
106	明るい未来の都市づくり
107	全ての人住みやすい東京
108	笑顔の発信地はここですよ

番号	意見・アイデア
109	生まれ変わった貴方の町を見て下さい
110	人手不足？増える外国人正社員
111	日本の元気は東京から
112	「今」も「これから」も守るために
113	生活良化けいかく
114	未来の東京、日本
115	楽しむ都市づくり
116	世界の最先端都市
117	子供あふれる未来
118	自然と笑顔あふれるまち東京
119	未来に繋がるまちづくりを
120	すべてがつながる町づくり
121	快適な町作り
122	人と自然が共存する社会を目指して
123	街と街、人と人をつなぐ場所
124	年齢層のことを考えたバリアフリーなまち
125	人ではなく、生き物が中心の都市づくり
126	つながりが増える都市、東京へ
127	地球全体がよくなるように！！
128	誰もが安全、幸せにすごせる都市へ
129	自他共楽
130	誰でも幸せになれる夢の都市！！
131	もっと便利で柔軟な都へ
132	あなたが輝く東京 あなたの未来が輝く東京
133	わたしたちは生きる。
134	キャッチー、短め、韻を踏む
135	人と人とでつくる新しい東京
136	笑顔溢れるコミュニティを目指す！！
137	キャッチーな物にするなら韻を踏む。安全。
138	人とのコミュニティを大切にする「日本」らしい都市
139	明日を大切につながり
140	明日をつくるつながりを大切に
141	SNSではなく、人とのつながりを大切に
142	利益だけを求める東京
143	成長を続ける交流都市
144	時代を超えて進化する東京、そして日本
145	バリアフリーな東京

番号	意見・アイデア
146	安全・安心・そして自由で美しい東京
147	安全・安心の東京
148	世界の心の架け橋を
149	安心な東京
150	自然豊かな東京
151	美しく安全な東京
152	素敵で東京
153	未来の東京
154	新たな東京
155	緑のある豊かな東京づくり
156	夢・理想を実現せよ！東京！
157	がんばろう東京
158	心にもゆとりを。東京
159	自然に幸せを溢れる TOKYO
160	活気に溢れる the smile Tokyo
161	バリアフリー化
162	思いやりのある子どもを育てる世の中へ
163	豊かな町 東京 2040
164	誰もが心置きなく自然に、誰にでも優しい世の中へ
165	平和が一番
166	個性に合わせた多くの場所を
167	世界最高水準の都市へ
168	健やかで健康な社会づくり
169	共存し合い伸び伸びとした生活
170	元気でハイテクな都市を目指して